◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.378　（2023年度No.6）**　 　2023/2/10

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆木の枝

自動的に生成された説明

マンサク

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2-7** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **7-12** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **12-14** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **14-20** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **20-21** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **21-36** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

2月03日　　かわら版377号・かわら版ニュース＆トピックス307号を発行

2月07日　　かわら版ニュース＆トピックス308号を発行

2月10日　　かわら版378号・かわら版ニュース＆トピックス309号を発行

**研修等のご案内**

**フード･フォラム・つくば「春の例会」「フードセーフティ分科会」**

**講演会のお知らせ**

**現場における衛生管理と運用のための考え方**

日時： 2023年3月6日（月）13:15～１6:50

場所： フクラシア八重洲（東京都中央区八重洲2-4-1名

　　　 住友不動産八重洲ビル（旧ユニゾ八重洲ビル）3階）

参加費： 会員：無料　/　会員外：5,000円 定員64名

　　　　※協賛後援等団体の会員の参加費は無料です。

PDF ポスター

<https://www.fft.gr.jp/page/topics/20230306/poster.pdf>

お申込みフォームはこちら

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe219DK37jXcZhMe8etn-gbWeEIGNHAP1faz1mnP622faJUrA/viewform>

（応募締め切り：2023年2月27日（金））

■プログラム

12:30- 受付開始

13:15-13:25 挨拶

（フード・フォラム・つくば幹事長　間 和彦氏）

13:25-13:35 講演会のねらい

（フード セーフティ分科会幹事　立石 亘氏・川﨑 晋氏）

13:35-14:35 『 飛騨牛ブランドの海外輸出と食肉センターの衛生管理について 』

　小林 光士氏

（飛騨ミート農業協同組合連合会　代表理事専務）

「産地一体で取り組む飛騨牛ブランドの輸出」を事例に、現在牛肉輸出 に直面している課題、および食肉センターに義務化されたCodex「食品衛生の一般原則」による衛生管理の基本的な考え方と、より正確なHACCPの構築について紹介する。

14:35-14:45 休憩

14:45-15:45 『 Listeria monocytogenesに着目した製造環境の衛生管理 』

　 下島 優香子氏

（相模女子大学栄養科学部管理栄養学科　准教授）

*Listeria monocytogenes*は食品製造環境に定着し、食品製品を二次汚 染します。本菌を対象とした環境モニタリングは、本菌による危害防止および一般的衛生管理の確認に有効です。今回は実例を紹介しながら解説します。

15:45-15:55 休憩

15:55-16:40 総合討論

16:40-16:50 閉会の挨拶

（農研機構食品研究部門　所長　亀山 眞由美氏）

■お問い合わせ

フード・フォラム・つくば事務局萩原・塚田（E-mail：[office@fft.gr.jp](mailto:office@fft.gr.jp)　）

TEL：029-838-8010、FAX：029-838-8005

**HACCP制度化への対応は自主的な衛生検査から！**

**様々なメーカーのATP検査キットやタンパク検出キット、簡易培地、アレルゲン検査キット、**

**携帯形微生物観察器を実習で体験してみませんか？**

**開催日程が決定いたしました‼　受講申込受付中!!**

**第9回 HACCP導入へ向けた迅速検査実習**

主催　　迅速検査研究会

（ATP・迅速検査研究会は2022年11月に「迅速検査研究会」に改称しました）

**当研究会の川崎晋会長による自主衛生管理をテーマとした講義、当会理事によるATPふき取り検査や簡易培地に関する講義の他、実際にATPふき取り検査などの操作や、簡易培地の観察などを体験していただきます。**

**また、皆様の日頃のお悩みにお応えするディスカッションの場も設けます。**

HACCP制度化の動きもあるので、

それに対応して自主検査の充実を図りたい！　**でも……。**

「微生物検査を実施しているが、今後は簡易・迅速に

検査ができる培地の導入も検討している」

「簡易・迅速検査で悩みや再確認したいことがあるけど、

社内で相談できる相手がいない」

「ATPふき取り検査の正しい使い方を知りたい」

「アレルゲン検査を始めたいけど、何から始めれば……？」

**そんなお悩みをお持ちの検査担当者・品質管理担当者様へ、**

**座学と実習をご提供します！**

**迅速検査を未経験の方も大歓迎！**



**■開 催 日 時：**

**2023年3月1日（水）9時55分～17時20分 予定**

**受付開始　9時30分～**

※新型コロナウイルス感染症の状況によって中止・延期となる可能性がございます。予めご了承ください。

**■会　　　場：一般財団法人東京顕微鏡院・豊海研究所（東京都中央区豊海町5-1）**

**■定　　　員：16名**

※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

※申込多数の場合は、企業・団体の検査担当者の方を優先させて頂く場合があります。

※大学・専門学校の学生の方もお申し込みも可能です。

※感染防止対策としてマスク着用、手指消毒、体温測定などにご協力をお願いします。

**■受　講　費：賛助会員・法人会員8,000円、一般10,000円**

**（テキスト代・白衣・シューズカバー代込み）**

※テキストとして当会15周年記念誌「現場のためのATPふき取り検査マニュアル」を配布します。

※受講者には修了証を発行いたします。

※公定法などの一般的な食品微生物検査の技術を習得する実習ではありません。

**主な内容 （予定）**

|  |
| --- |
| 【講義】HACCPにおける自主検査の位置づけ、簡易・迅速検査の役割など  【講義・実習】手洗い講習  ※実習では、手洗いチェッカーを用いた手洗い効果の確認を体験していただきます。  【講義・実習】ATP ふき取り検査、タンパクふき取り検査、アレルゲン検査、微生物培地の基礎、など  ※実習では、ATP ふき取り検査とタンパク質検出キット、アレルゲン検査キット、携帯形微生物観察器の操作を体験していただきます。  また、簡易・迅速培地で培養した一般生菌、大腸菌・大腸菌群などの観察を体験していただきます。  【質疑応答】事前に受け付けたご質問や、研修会を通じてのご質問などにご回答いたします。 |

**〔検査資材・試薬提供（予定）〕**

|  |  |
| --- | --- |
| **★微生物検査培地** | アヅマックス、栄研化学、エルメックス、キッコーマンバイオケミファ、ネオジェン ジャパン、  日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★ATPふき取り検査** | エア・ブラウン、キッコーマンバイオケミファ、ネオジェン ジャパン、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★タンパク／アレルゲン検査** | アヅマックス、エア・ブラウン、ネオジェン ジャパン、日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★携帯形微生物観察器** | mil-kin |
| **★手洗いチェッカー** | 東京サラヤ |

参加者からは「色々なキットを体験できてわかりやすかった」「講義も実習も今後の参考になると思う」「これまで現場で使っていたが、疑問点が解消できた」「これから迅速検査を導入するので、社内で情報共有したい」など、迅速検査の初心者から熟練者まで、幅広い層に好評なイベントです

**申込み方法**

**下記の6項目を明記の上、下記へE メールにてお申込みください。**

**1．所属・役職、2．住所、3．氏名（ふりがな）、 4．E - mail、5．電話番号、6．会員or一般**

※当会の賛助会員・法人会員企業と機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります。

Ｅメール： [info@ATP-jinsokukensa.com](mailto:info@ATP-jinsokukensa.com)

**↓ウェブサイトからお申込みいただけます。　**<https://onl.bz/btmdNs6>

**↓QRコードからもお申込みいただけます。**

講義の後、様々な検査キットを体験して頂きます。

沢山の検査キットが一堂に会する、この機会をお見逃しなく！



**お問い合わせ**

迅速検査研究会（ATP・迅速検査研究会） 事務局担当：立石（たていし） ＴＥＬ：０９０－２９０７－５４５６

**個人情報保護／**お申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、ご本人様の承諾を得ることなく、ATP・迅速検査研究会以外の目的で第三者に提供、開示することはありません。

**利用目的／**お預かりした個人情報は、ご入会・ご継続時の申込管理、ATP・迅速検査研究会のセミナー・勉強会のご紹介、及びこれらに関する各種イベント等のご案内に使用させて頂く場合がございます。

迅速検査研究会 （ATP・迅速検査研究会）第47回講演会「迅速検査の今日的意義」ご案内

迅速検査研究会　会長　川﨑 晋

迅速検査研究会は2023年2月15日（水）、東京の月島社会教育会館で第47回講演会「迅速検査の今日的意義」を開催します。ふるってご参加ください。(現地参加＆オンライン配信)

（ATP・迅速検査研究会は 2022 年 11 月に「迅速検査研究会」に改称しました）

**プログラム（予定）**　2023年2月15日（水）（開場12：00～、開演13：00～）

|  |  |
| --- | --- |
| 12：00～13：00 | **受付**※受付スタッフにお名刺を 1 枚お渡しください。  会場ロビーにおいて、迅速検査関連の資材の展示を行っております。 |
| 13：00～13：10  （10分） | **【主催者あいさつ】 研究会の名称変更と簡便・迅速検査今後の展望**  迅速検査研究会 会長　**川﨑 晋**　先生  （国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）食品研究部門） |
| 13：10～14：00  （50分） | **【基調講演】 HACCPにおける自主衛生検査と環境検査**  迅速検査研究会 副会長　**森 哲也**　先生  （一般財団法人法人 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 微生物検査部） |
| 14：00～14：30  （30分） | **【講演】 県内食品企業の食品保存性向上を目的とした衛生管理および食品開発支援**  福岡県工業技術センター 生物食品研究所 食品課　**田﨑 麻理奈**　先生 |
| 14：30～14：45 | **【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション①】** 日水製薬株式会社 |
| 14：45～15：05 | 休憩・展示　（会場ロビーにてATP・迅速検査の関連資材の展示を行っております） |
| 15：05～15：20 | **【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション②】** ネオジェン ジャパン株式会社 |
| 15：20～16：10  （50分） | **【講演】 簡便・迅速検査を活用した医療施設における感染／衛生検査**  ワタキューセイモア株式会社 メデイカル営業本部 学術担当部長　**伏見 了**先生  （東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 客員准教授） |
| 16：10～17：00  （50分） | **【教育講演】食品リスクとの科学的な向き合い方**  **～食の信頼を確保するスマート・リスクコミュニケーション**  特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会（SFSS）理事長　**山崎 毅**先生 |
| 17：00～17：20 | **総合討論**（閉会後も会場ロビーにて関連資材の展示を行っています） |

※開演前、休憩時間、閉会後に簡便・迅速検査に関する展示を行っています。ごゆっくりご覧ください。

**【会場】** 月島社会教育会館 （〒104-0052 東京都中央区月島 4-1-1、月島区民センター）

**【定員】** 会場 100 名 ／ ウェブ（ ＺＯＯＭ ）視聴 100 名

**【受講費】** 賛助会員企業・法人会員企業 1,000 円、一般 3,000円 （※事前登録をお願いします）

**【お申し込み方法】**

以下の7項目を記入し、下記メールアドレスまでお申し込みください。

1．所属・役職、2．住所、3．氏名、4．E-mail、 5．電話番号、 6．会場聴講／ウェブ聴講の別、

7．会員／非会員の別　（当会の賛助会員・法人会員、機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります）

**【申し込み・問い合わせ先】**[info@atp-jinsokukensa.com](mailto:info@atp-jinsokukensa.com)　 **【Google Formからもお申し込み頂けます】**<https://onl.bz/xyRMA6K>

**QRコードからもお申込みいただけます**

**【会場での感染対策について】**

会場内では新型コロナウイルス（COVID-19）感染予防にご協力をお願いします。

・受付時の検温ならびに手指消毒にご協力ください。

・検温の結果、37.5℃以上の場合は、参加をご遠慮いただく場合があります。

・感染症の流行の状況によってオンライン配信のみになる場合があります。

**【会場アクセス】**

・地下鉄 月島駅 10 番出口（都営大江戸線、東京メトロ有楽町線）

・都バス 月島三丁目

・江戸バス（コミュニティバス） 月島区民センター

**『食品加工機械に関連する「食品の不具合」と改善提言』**

【開催日時】2023年2月18日（土）13：30～16：20

【主　旨】

食品加工機械や構成部品の破損による異物混入、包装不良による食品汚染など、食品加工機械に起因した 「食品の不具合」は食品リコールの対象となり、食品メーカーはリコールにより、莫大な経済的損失を被 る可能性があります。

また、2020 年の食品衛生法の改正にともない、我が国の食品産業界において HACCP システムが制度化されました。

同システムを構築するためには、全フードチェーンに渡る「前提条件プログラム(PRP)」の適用が不可欠であり、食品製造者の PRP には食品加工機械の衛生設計も含まれます。

そのため、食品加工機械に関連する「食品の不具合」に関する関心は高まっていますが、「食品の不具合」の原因、および改善するための施策はあまり知られていません。

今年の市民フォーラムは、食品加工機械に関連する食品の不具合について、具体的なケースを交えて紹介するとともに、それら不具合を改善するための施策について紹介いたします。

**プログラム：**

13：30～13：40 ご連絡 / 開会挨拶

13：40～14：20 講演

『食品加工機械に関連する衛生面の不具合について』

（大阪公立大学 食品安全科学研究センター 日佐 先生）

14：20～14：25 質疑応答

14：25～14：35 休憩

14：35～15：15 講演

『食品加工機械由来の異物混入をテーマにした不具合事例と改善提案』

（元 キューピー㈱ 野呂様）

15：15～15：20 質疑応答

15：20～15：30 休憩

15：30～16：10 講演

『食品のプラスチック製容器包装の不良による自主回収の原因と対策を考える』

（元 生活協同組合連合会ユーコープ事業連合 藤平様）

16：10～16：15 質疑応答

16：15～16：20 閉会挨拶

［備考：終了時間は多少前後する可能性があります。］

会場 オンライン開催

参加費　無料（定員：90名）申込締切 2023年2月11日（土）

【申込方法】

以下のURLから2023年2月11日（土）までにお申込み下さい。

URL：<https://jsme22-143.peatix.com>

本セミナー参加のためのURLはお申込み頂いたメールアドレスへ開催日3日前までに通知いたします。

【お申込の際の注意事項】

はじめてPeatixを利用される方はお申込み前にPeatixアカウントを取得（新規登録）していただく必要がございます。 （Peatixアプリのダウンロードは必須ではありません．）

本ページにある「チケットを申し込む」をクリックし、必要事項をご入力の上、申込みのお手続きをお願いします。

お一人ずつ個人単位でのお申込みをお願いします。

お申込内容は、PeatixアカウントもしくはPeatixより配信されるお申し込み詳細メールからご確認いただけます。

メールが届かない場合は、「peatix.com」からのメールを許可するように受信設定をお願いします。

コメント欄およびメッセージ機能でのご連絡には返信できかねますので、下記の問い合わせ先に直接ご連絡ください。

参加者による、セミナーの静止画/動画撮影，録音は禁止です。

「レコーディング」ボタンで録音することは法律で禁止されています。

当日の発表の音声、スライドの著作権は発表者に帰属します。

◎当日ご参加に必要なもの

視聴用のパソコン＊必須

スピーカーとマイク（質問をする際に必要となります）

有線または無線ブロードバンドのインターネット接続＊必須

※必ず前日までに機材の事前準備と動作確認をした上でご参加下さい。

Zoomで参加の際には、参加者氏名、会社名（勤務先名、学校名）を表示いただきます。

【問合せ先】

〒162-0814　東京都新宿区新小川町4番1号 KDX飯田橋スクエア2階

日本機械学会（担当職員　中嶋 勇輝）

電話03-4335-7614

E-mail: [y.nakajima@jsme.or.jp](mailto:y.nakajima@jsme.or.jp)

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★***Link***インフルエンザの発生状況**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html>

**★***Link***インフルエンザに関する報道発表資料 2022/2023シーズン**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou_00010.html>

**★***Link***インフルエンザ流行状況レベルマップ**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/tokuteisessyu_iryou_00003.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人) <https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**■***NEW***疾病・障害認定審査会 (感染症・予防接種審査分科会新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査第二部会)　審議結果　2023/2/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30770.html>

　審議結果

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001056133.pdf>

**■***NEW***2023年度以降の新型コロナワクチンの接種の方針についての議論のとりまとめについて　2023/2/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31004.html>

　　今般、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会において「2023年度以降の新型コロナワクチンの接種の方針について」がとりまとめられましたのでお知らせいたします。

2023年度以降の新型コロナワクチンの接種の方針について【概要】

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001055081.pdf>

2023年度以降の新型コロナワクチンの接種の方針について

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001055044.pdf>

2023年度以降の新型コロナワクチンの接種の方針について＜参考資料＞

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001055045.pdf>

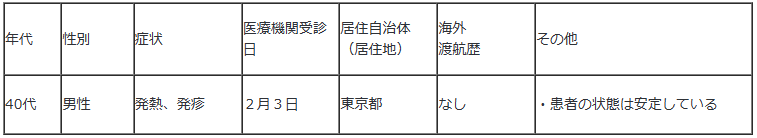
**■***NEW***サル痘の患者の発生について　2023/2/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30992.html>

　　発疹等の症状を示し、サル痘への罹患が疑われた男性１名に関して検査の結果、サル痘の患者と確認されたことが、本日、東京都から報告されました。

我が国では、サル痘は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）において、４類感染症に指定されており、届出義務の対象となっています。

患者に関する情報は、以下のとおりです。



**■***NEW***「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（案）」（農薬等（アセキノシル等５品目）の残留基準の改正）に関する御意見の募集について　2023/3/6**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495220358&Mode=0>

　受付開始日時 2023年2月6日0時0分

受付締切日時 2023年3月7日23時59分

**■***NEW***令和５年１月20日　第90回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和４年度第23回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）議事録　2023/2/3**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30584.html>

**■サル痘の患者の発生について　2023/2/2**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30779.html>

　　本日、以下の男性３名について、検査の結果、サル痘の患者等と確認されたことが、東京都から報告されました。

我が国では、サル痘は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）において、４類感染症に指定されており、届出義務の対象となっています。

患者に関する情報は、以下のとおりです。

カレンダー

自動的に生成された説明

**■サル痘の患者の発生について　2023/1/31**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30693.html>

　発疹等の症状を示し、サル痘への罹患が疑われた男性１名に関して検査の結果、サル痘の患者と確認されたことが、本日、埼玉県から報告されました。

我が国では、サル痘は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）において、４類感染症に指定されており、届出義務の対象となっています。

患者に関する情報は、以下のとおりです。

テキスト

低い精度で自動的に生成された説明

**■サル痘の患者の発生について　2023/1/30**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30559.html>

　　発疹等の症状を示し、サル痘への罹患が疑われた男性３名に関して検査の結果、サル痘の患者と確認されたことが、本日、東京都から報告されました。

我が国では、サル痘は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）において、４類感染症に指定されており、届出義務の対象となっています。

患者に関する情報は、以下のとおりです。

カレンダー

自動的に生成された説明

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１３２７報）　2023/2/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30677.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　　　※ 基準値超過　７件

　　　No. 44 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 160 Bq / kg )　 桑折町

　　　No. 45 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 490 Bq / kg )　 福島市

　　　No. 46 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 220 Bq / kg )　 須賀川市

　　 No. 50 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 580 Bq / kg )　 福島市

　　 No. 51 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 180 Bq / kg )　 福島市

　　 No. 52 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 120 Bq / kg )　 いわき市

　　 No. 53 福島県　　 イノシシ肉　　 （Cs ： 540 Bq / kg )　 福島市

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１３２６報）　2023/1/31**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30450.html>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.3/ 2023（2023.2.1）　2023/2/1**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202303m.pdf>

**目次**

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. エノキダケに関連して複数州にわたり発生しているリステリア（ *Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2023 年 1 月 27 日、18 日付更新情報）

2. ペットのアゴヒゲトカゲ（bearded dragon）に関連して複数州にわたり発生している 2件のサルモネラ（*Salmonella Vitkin* および *S.* IIIb 61:z52:z53）感染アウトブレイク

**（2023 年 1 月 20 日付更新情報）**

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】**

1. エルシニア症 － 2020 年次疫学報告書

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 熟成肉の微生物学的安全性

**【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】**

1. ドイツとモロッコが両国における食品安全のため科学協力の機会を探求

**【ProMED-mail】**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（04）（03）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.3/ 2023（2023.2/1）　2023/2/1**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202303c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【WHO】 食物アレルゲンのリスク評価：パート 2：優先アレルゲンの見直しと食品中の閾値の設定：会合報告**

食物アレルゲンのリスク評価に関する第 2 回 FAO/WHO 合同特別専門家会合が開催され、優先アレルゲンの見直しと食品中の閾値の設定に関する科学的助言をまとめた報告書が公表された。専門家会合は、優先アレルゲンの閾値（食物アレルギーのある消費者の大半に有害な反応が生じないアレルゲンの量）として参照用量（RfD）に合意した。RfD はアレルゲンとなる食品の総タンパク質量（mg）とし、RfD を消費される食品の量（kg）で除した値をアクションレベルとして提案している。

＊ポイント： コーデックス食品表示部会（CCFL）へ優先アレルゲンの閾値について助言を提供するために開催された専門家会合の報告書です。CCFL では、包装済み食品の表示に関する一般規格のアレルゲン表示に関する条項の見直しと、予防的アレルゲン表示に関するガイダンスの策定が議題となっており、その検討で今回の RfD とアクションレベルが考慮されることになるでしょう。

**【FDA】 FDA はベビーフード中の鉛のアクションレベルに関する事業者向けガイダンスを発表**

米国食品医薬品局（FDA）は、「よりゼロに近づける（Closer to Zero）」行動計画の一環として、赤ちゃん及び小さい子供向け加工食品中の鉛のアクションレベルに関するガイダンス案を発表した。アクションレベルは、FDA が食品を異物混入（adulterated）とみなす可能性がある濃度であり、執行措置を行うべきかどうかを検討する際に考慮される。提案されているアクションレベルは、「果物、野菜（根菜類の単一食材の製品を除く）、混合品、ヨーグルト、カスタード/プリン、単一食材の肉類」の製品 10 ppb、「根菜類（単一食材）」の製品 20 ppb、「乾燥乳児用シリアル」の製品 20 ppb であり、事業者が汚染低減のための措置を講じれば達成可能な濃度であるとしている。

＊ポイント： 2021 年 4 月に開始した行動計画では、ベビーフード中の鉛、ヒ素、カドミウム、水銀のアクションレベルの設定を目指しており、鉛が最初に設定されました

子供への健康影響に関する暫定参照値（IRL）と国内流通品の汚染実態が考慮されており、IRL は米国疾病管理予防センター（CDC）が血中鉛参照値を見直したため以前（3.0 μg/日）よりも低い 2.2 μg/日が採用されています。また、対象品目が細かくなり過ぎないように配慮されています。FDA の計画では、次はヒ素への設定が予定されています。

**【PhilRice】 Malusog ライス（ゴールデンライス）が収穫された**

フィリピンにおいて、βカロテンが豊富な Malusog ライス 100 トン以上が初めて収穫され、ビタミン A 欠乏リスクのある就学前の子供、妊娠中あるいは授乳中の母親のいる家庭に配布された。現在、商用栽培のために種子を増やしており、2024 年後半には完全商用化されると期待されている

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全セミナー（健康食品）開催のお知らせ（令和５年３月１０日）　2023/2/9**

<https://www.fsc.go.jp/koukan/annai/annai20230310.html>

**食品安全セミナー（オンライン）を開催します**

**「テーマ：健康食品による健康被害を防ぐために」−　３月１０日(金)１４時開催　−**

**◆　「無承認無許可医薬品」がダイエット用ゼリーとして販売され健康被害が生じています。食品安全委員会は2015年、『いわゆる「健康食品」に関する19のメッセージ』を取りまとめましたが、今回の事案は、まさにその中でお伝えしていた（６）「健康食品」として販売されている「無承認無許可医薬品」に注意してください、（14）ダイエットや筋力増強効果を期待させる食品には、特に注意してください、に該当します。**

**◆　SNSでの広告や個人輸入・販売など、健康食品を取り巻く環境は変化しましたが、7年前に発出したメッセージはどれも、その重要性に変わりはなく、改めて広く国民の皆様に意識していただきたいものばかりです。**

**◆　食品安全委員会の脇昌子委員が当時、ワーキンググループ座長として19のメッセージを取りまとめました。そこで、脇委員が、近年の健康被害や事件の状況も踏まえ、健康食品による健康被害を未然に防ぐためのポイントを情報提供し、皆様から事前にお寄せいただいた質問を中心に回答します。**

**１．開催日時：令和５年３月10日(金)１４時００分から１６時００分（予定）**

**２．開催形態：Ｗｅｂ会議システム（Ｗｅｂｅｘ）**

**３．対象者 ：どなたでもご参加可能です**

**４．参加可能人数：３００名（先着順）**

**５．開催内容：**

**（１）話題提供（６０分）**

**「健康食品」との付き合い方〜いわゆる「健康食品」に関する19のメッセージ〜**

**食品安全委員会委員　脇　昌子**

**（２）質疑応答（６０分）回答者 ：食品安全委員会委員　脇　昌子**

**ファシリテーター：食品安全委員会事務局　リスクコミュニケーション官　藤田　佳代**

**司会：食品安全委員会事務局　情報・勧告広報課長　浜谷　直史**

**６．参加申込み要領**

**（１）本セミナーはＷｅｂ会議システム「ｗｅｂｅｘ」により行います。**

**下記の申込フォームに必要事項をご記入の上、お申し込みください。**

**（２）質疑応答は、事前質問を受け付けます(２月22日まで)。**

**時間に限りがありますので、全ての質問にお答えできない場合があります。**

**特に健康被害の実態、国としての対策等リスク管理に関する質問にはお答えできませんのでご注意ください。**

**（３）参加者には、セミナー（オンライン）のＵＲＬを前日１６時までに送付いたします。**

**（４）その他**

**・インターネット通信料は、参加者のご負担となります。**

**・パソコン、タブレット、スマートフォンなどでの参加が可能ですが、安定した通信環境を推奨します。**

**・通信環境により、動作に支障が出る場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

**・お申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、ご本人への連絡を行う場合に限り利用させていただきます。**

**７．参加申込み**

**参加申込フォーム（**<https://form.cao.go.jp/shokuhin2/opinion-0116.html>**）から、**

**事前質問のある方は令和５年２月22日(水)１４時までにご登録をお願いします（事前質問はそこで締め切ります）。**

**参加登録は３月７日(火)１４時まで受け付けます。**

**（参考資料）**

**「健康食品」に関する情報**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.html>

**「健康食品」に関するメッセージ**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.data/kenkosyokuhin_message.pdf>

**「健康食品」に関する情報（Q&A）**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.data/kenkosyokuhin_datakenkosyokuhin_QA.pdf>

**「健康食品」に関する報告書**

<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.data/kenkosyokuhin_houkoku.pdf>

**■***NEW***食品安全委員会（第889回）の開催について　2023/2/9**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和5年2月14日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３． 議事

（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

　　　・肥料 １品目（農林水産省からの説明）菌体りん酸肥料

（２）遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

　　 ・「ROM株を利用して生産されたα-アミラーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（３）肥料・飼料等専門調査会における審議結果について

　　 ・動物用医薬品・飼料添加物「エトパベート」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（４）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

　　　・遺伝子組換え食品等「コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）」に係る食品健康影響評価について

（５）令和５年度食品安全モニターの依頼について

（６）その他

４．動画視聴について

：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、2月13日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、2月14日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年12月10日から令和4年12月23日）2023/1/12**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=12&from_day=10&to=struct&to_year=2022&to_month=12&to_day=23&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/2/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230210.html>

　　本日（2月10日（金曜日））、千葉県横芝光町の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内75例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：千葉県横芝光町

飼養状況：約5,000羽（あひる）

疫学関連農場：埼玉県春日部市、熊谷市（2農場、合計約600羽（あひる））

2.経緯

（1）昨日（2月9日（木曜日））、千葉県は、同県横芝光町の農場から、家きんの異状がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（2月10日（金曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***大分県佐伯市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内60例目）に係る移動制限の解除について　2023/2/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230209.html>

　　大分県は、同県佐伯市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内60例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年2月9日（木曜日）午前0時（2月8日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）大分県は、令和5年1月17日に同県佐伯市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内60例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）大分県は、令和5年1月29日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、大分県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年1月18日の翌日から起算して21日が経過する令和5年2月9日（木曜日）午前0時（2月8日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***福岡県古賀市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内54例目）に係る移動制限の解除について　2023/2/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230209_1.html>

　福岡県は、同県古賀市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内54例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年2月9日（木曜日）午前0時（2月8日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）福岡県は、令和5年1月3日に同県古賀市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内54例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）福岡県は、令和5年2月3日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、福岡県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年1月18日の翌日から起算して21日が経過する令和5年2月9日（木曜日）午前0時（2月8日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***埼玉県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内71例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/2/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230208.html>

　　埼玉県日高市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内71例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）埼玉県日高市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内71例目、2月1日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***茨城県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内72例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/2/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230208_1.html>

　茨城県かすみがうら市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内72例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）茨城県かすみがうら市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内72例目、2月2日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***茨城県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内73例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/2/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230208_2.html>

　　茨城県八千代町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内73例目）について動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）茨城県八千代町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内73例目、2月3日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***鹿児島県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内74例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/2/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230208_3.html>

　　鹿児島県鹿屋市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内74例目）について動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）鹿児島県鹿屋市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内74例目、2月3日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***広島県世羅町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内51例目）に係る移動制限の解除について　2023/2/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230208_5.html>

　　広島県は、同県世羅町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内51例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年2月8日（水曜日）午前0時（2月7日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）広島県は、令和4年12月30日に同県世羅町の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内51例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）広島県は、令和5年2月3日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、広島県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年1月17日の翌日から起算して21日が経過する令和5年2月8日（水曜日）午前0時（2月7日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***新潟県上越市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内59例目）に係る移動制限の解除について　2023/2/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230208_4.html>

　　新潟県は、同県上越市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内59例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年2月8日（水曜日）午前0時（2月7日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）新潟県は、令和5年1月13日に同県上越市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内59例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）新潟県は、令和5年1月28日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、新潟県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年1月17日の翌日から起算して21日が経過する令和5年2月8日（水曜日）午前0時（2月7日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***茨城県城里町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内56例目）に係る移動制限の解除について　2023/2/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230208_6.html>

　　茨城県は、同県城里町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内56例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年2月8日（水曜日）午前0時（2月7日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）茨城県は、令和5年1月9日に同県城里町の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内56例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）茨城県は、令和5年2月2日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、茨城県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年1月17日の翌日から起算して21日が経過する令和5年2月8日（水曜日）午前0時（2月7日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***広島県世羅町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内36・42・49例目）に係る移動制限の解除について　2023/2/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230207.html>

　広島県は、同県世羅町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内36・42・49例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年2月7日（火曜日）午前0時（2月6日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました

1.経緯及び今後の予定

（1）広島県は、令和4年12月16日、19日、27日に同県世羅町の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内36・42・49例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）広島県は、令和5年1月27日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、広島県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年1月16日の翌日から起算して21日が経過する令和5年2月7日（火曜日）午前0時（2月6日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***香港向け家きん由来製品の輸出再開について（愛知県、福島県、山形県、香川県、沖縄県、岡山県及び長崎県）　2023/2/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230206.html>

　　本日より、愛知県、福島県、山形県、香川県、沖縄県、岡山県及び長崎県からの香港向けの家きん由来製品の輸出が再開されましたのでお知らせします。

概要

令和4年10月28日に高病原性鳥インフルエンザの今シーズン国内一例目が発生して以降、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港当局からは、非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

これまで、発生県からの輸出再開について協議を行ってきたところ、今般、香港当局との間で、高病原性鳥インフルエンザに関する清浄性が認められた愛知県、福島県、山形県、香川県、沖縄県、岡山県及び長崎県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所において香港向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

引き続き、他の発生県からの輸出再開について、香港当局との協議を行ってまいります。

＜2022年1-12月の輸出額＞

香港向け鶏肉：18億円（鶏肉の総輸出額20億円）

香港向け鶏卵：79億円（鶏卵の総輸出額85億円）

出典：財務省「貿易統計」

＜これまでの経過＞

令和4年10月28日：岡山県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年11月1日：香川県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年11月29日：福島県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年12月5日：愛知県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年12月8日：山形県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年12月16日：沖縄県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和4年12月22日：長崎県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

参考

香港向けの家きん由来製品停止状況については、以下のページよりご確認いただけます。

URL：<https://www.maff.go.jp/aqs/hou/pdf/exkakin3-6.pdf>　（PDF：91KB)

お問合せ先

消費・安全局動物衛生課　担当者：沖田、木村

代表：03-3502-8111（内線4584）ダイヤルイン：03-3502-8295

**■***NEW***宮崎県川南町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内57例目）に係る移動制限の解除について　2023/2/3**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230203_5.html>

　　宮崎県は、同県川南町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内57例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年2月3日（金曜日）午前0時（2月2日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）宮崎県は、令和5年1月10日に同県川南町の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内57例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）宮崎県は、令和5年1月27日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、宮崎県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年1月12日の翌日から起算して21日が経過する令和5年2月3日（金曜日）午前0時（2月2日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***鹿児島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/2/3**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230203.html>

　　本日（2月3日（金曜日））、鹿児島県鹿屋市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内74例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：鹿児島県鹿屋市

飼養状況：約2.4万羽（育雛（肉用種鶏））

2.経緯

（1）昨日（2月2日（木曜日））、鹿児島県は、同県鹿屋市の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（2月3日（金曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***茨城県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/2/3**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230203_4.html>

　　本日（2月3日（金曜日））、茨城県八千代町の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内73例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：茨城県八千代町

飼養状況：約111万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（2月2日（木曜日））、茨城県は、同県八千代町の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（2月3日（金曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***第9回消費者法の現状を検証し将来の在り方を考える有識者懇談会(2023年1月12日)議事録**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_system/meeting_materials/review_meeting_004/031685.html>

**■「令和4年度消費生活意識調査(第4回)」の結果について　2023/2/2**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/032078/>

　　「消費生活意識調査」では、消費者の意識や行動、消費者問題等について、その時々のテーマで随時調査を実施しています。令和4年12月は、「消費者教育」をテーマに調査を行いました。

公表資料

「令和4年度消費生活意識調査(第4回)」の結果について[PDF:349.9 KB]

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/survey_003_230202_0001.pdf>

関連リンク

消費生活意識調査

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/research_report/survey_003/>

**■取引デジタルプラットフォーム上で販売されている浄水カートリッジの模倣品に関する注意喚起　2023/2/1**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/032005/>

　　取引デジタルプラットフォーム上で販売されている浄水カートリッジの模倣品に関する注意喚起を行いました。

詳細

令和2年9月以降、取引デジタルプラットフォームにおいて、家庭用に設置された浄水器の交換用の浄水カートリッジの模倣品が販売されていた旨の情報が消費者庁に寄せられました。

消費者庁が調査を行ったところ、消費者の利益を不当に害するおそれのある行為(虚偽の広告・表示)を確認したため、消費者安全法(平成21年法律第50号)第38条第1項の規定に基づき、消費者被害の発生又は拡大の防止に資する情報を公表し、消費者の皆様に注意を呼びかけます。

また、この情報を都道府県及び市町村に提供し、周知します。

公表資料

取引デジタルプラットフォーム上で販売されている浄水カートリッジの模倣品に関する注意喚起[PDF:917.7 KB]

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_policy_cms103_230201_01.pdf>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★徳岡「発泡性ぶどう酒：ヴーヴ アンジュリー ブリュット」 - 返金／回収　軟性プラスチック片の混入が確認されたため　2023/2/9**

**★太田屋製菓「おさんぽわたがし」 - 返金／回収　金属片が混入　2023/2/9**

**★阪和興業「尾付きむき伸ばし海老L（ブラックタイガー）」 - 回収　スルファメトキサゾール（合成抗菌剤）が微量に残留している可能性があるため　2023/2/9**

**★のぐふぁーむ「分離液状ドレッシング：のぐッシング」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2023/2/9**

**★マミーマート「mami+EL プレーンヨーグルト」 - 返金／回収　通常商品と比較し粘度が低い状態だったため　2023/2/8**

**★ゼリーの家「手作りゼリー、デコレーションモアリッチ」 - 返金／回収　アレルゲン「乳成分」の表示欠落　2023/2/8**

**★えびせんべいの里「おいしさいろいろ」 - 交換／回収　外装に賞味期限が23.05.04と記載された商品の中に、23.03.24又は23.04.08の個包装を混入　2023/2/8**

**★マックスバリュ東海「にぎり寿司（大吉）2人前」 - 返金　消費期限の誤表示（誤：23.2.10、正：23.2.6）　2023/2/7**

**★エーデルワイス（ルビアン池袋西武店）「バナナブレッド」 - 返金／回収　アレルゲン「卵、乳成分、バナナ」の表示欠落　2023/2/7**

**★中村商店「しゃぶしゃぶのごまだれ」 - 返金／回収　社内自社検査にて自社基準値を超える菌数が検出されたため　2023/2/7**

**★おやつカンパニー「ベビースター 贅沢もんじゃ味」 - 返金／回収　桜えびエキスの原料となる桜えびが駿河湾産ではなく台湾産であったことが判明　2023/2/7**

**★リヨン「焼き菓子」 - 返金／回収　アレルゲン「乳成分、くるみ、アーモンド」、保存方法の表示欠落　2023/2/7**

**★小須田ブルーベリー園「ブルーベリージャム」 - 返金／回収　保存温度の表示欠落（開封後は10℃以下で保存）　2023/2/6**

**★横食「やわらか甘酢いりこ」 - 返金／回収　賞味期限の表示欠落（本来の賞味期限：23.3.1）　2023/2/6**

**★阪栄「青葱カット」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：23.3.5、正：23.2.5）　2023/2/6**

**★三容「清涼飲料：ぶどうボンボン」 - 返金　日本語表示ラベルを貼らずに販売（原材料、賞味期限、保存方法の表示欠落）　2023/2/6**

**★タカチホ「東京スカイツリー 蒸しきんつば」 - 返金／回収　毛髪のような異物が混入していたため　2023/2/3**

**★デン・ジャパン「鯨カツ」 - 回収　軟質樹脂片が混入　2023/2/3**

**★リウボウストア「沖縄県産豚肉バラうすぎり」 - 回収　金属片混入のおそれ　2023/2/3**

**★BSJ「クリーミーなロゼトッポキ」 - 返金／回収　細菌数1700000/g検出、大腸菌群陽性だったため　2023/2/3**

**★久保田麺業「箱入のどぐろ塩ラーメン」 - 交換／回収　誤ってアレルゲン「牛肉」「豚肉」が使用されている添付スープを同梱したことが判明　2023/2/3**

**★亜味撰「角切昆布わさび風味」 - 返金／回収　アレルゲン「豚肉」の表示欠落　2023/2/3**

**★アサヒビール「ルイ・ラトゥール社製ワイン　ハーフボトル」 - 返金／回収　びん口部が欠け、破片がワインに混入している可能性があるため　2023/2/2**

**★エムケーチーズ「フィラデルフィアme 6P クリームチーズ&ピスタチオ」 - 返金／回収　金属小片混入のおそれがあるため　2023/2/2**

**★三容「リアルチーズラーメン オトギ」 - 返金　アレルゲン「小麦、卵、乳、大豆、鶏肉」の表示欠落　2023/2/2**

**★フロンティア物産「オージー ストロベリーゼリー（グミ）」 - 返金／回収　菓子に使用できないデヒドロ酢酸が検出され、対象商品に混入している可能性が高いため　2023/2/2**

**★三容「清涼飲料：ももボンボン」 - 返金　アレルゲン「もも」の表示欠落　2023/2/2**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■弁当店で食中毒症状　弁当食べた76人　症状は快方に向かう　2月3日から3日間営業停止＜福島市＞　2/3(金) 17:39配信　福島テレビ　福島県福島市**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0ce56d8498b7dbe41bba47c2eaad911567ab5c6d>

**★ウイルスによる食中毒★**

**■食中毒（疑い）が発生しました　2023/2/9　福岡県田川郡**

**調査中**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20230209.html>

　１　事件の探知

　　令和５年２月８日（水）、田川郡の保育所から、複数の園児が食中毒様症状を呈している旨、田川保健福祉事務所に連絡があった。

２　概要

　　同事務所が調査したところ、園児４３名のうち１４名が２月７日（火）から嘔吐又は下痢の症状を呈していることが判明した。なお、当該施設の園児は、施設が提供した食事を喫食している。

　現在、同事務所において食中毒及び感染症の両面から調査を進めている。

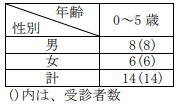
３　発生日時 判明分：令和５年２月７日（火）　午後５時頃　（初発）

４　摂食者数　調査中　判明分：４３名

５　症状　判明分：嘔吐、下痢等

６　有症者数　調査中　判明分：１４名

医療機関を受診しているが、入院しておらず、重篤な症状は呈した者はいない。



　　７　原因施設、原因食品、病因物質　調査中

８　検査　福岡県保健環境研究所で有症者便等を検査予定

９　その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（２月９日現在。調査中の事件を除く。）



**■食中毒を発生させた施設の行政処分を行いました　2023/2/9　埼玉県三郷市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0708/news/page/news20230209.html>

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/230176/news2023020901.pdf>

1. 行政処分の内容

草加保健所は、食中毒を発生させた(1)の営業者に対して、(2)の営業施設での営業停止の行政処分を本日行った。

(2)　営業施設　イタリア食堂nono（ノノ）　三郷市

(3)　営業の種類　飲食店営業

(4)　違反内容　食品衛生法第6条違反

令和5年2月4日（土曜日）に上記営業施設において調理提供された食事を喫食した19名中14名に対して、おう吐、下痢、発熱等を主症状とするノロウイルスによる健康被害を生じさせた。

(5)　処分内容　食品衛生法に基づく営業停止命令

ア　処分年月日　令和5年2月9日（木曜日）

イ　営業停止

令和5年2月9日（木曜日）から令和5年2月11日（土曜日）まで3日間

なお、営業者は令和5年2月6日（月曜日）から営業を自粛している。

(6)　病因物質　ノロウイルス

2　指導内容

草加保健所は営業者に対して、食中毒の再発防止を目的に、営業停止期間中、施設の消毒を指導するとともに調理従事者への衛生教育等を行う。

3　食中毒事件の概要

(1)　探知

令和5年2月6日（月曜日）、営業者から「令和5年2月4日（土曜日）に店舗を利用した2グループが、2月5日（日曜日）から腹痛、下痢、おう吐、発熱等の症状を呈している」旨の通報が草加保健所にあり、調査を開始した。

(2)　調査結果（ 発表日現在 ）

ア　患者の発生状況等

(ア)　喫食者　19名（4グループ）

(イ)　患者　14名（ 12歳から64歳 ）　受診者10名、全員、快方に向かっている。

(ウ)　喫食日時　令和5年2月4日（土曜日）11～19時

(エ)　初発日時　令和5年2月5日（日曜日）12時

(オ)　主な症状　おう吐、下痢、発熱等

(カ)　喫食メニュー　ピザ、パスタ、サラダ、デザート等

イ　上記飲食店を食中毒の原因施設と断定した理由

(ア)　患者6名及び従事者3名の便からノロウイルスが検出されたこと。

(イ)　患者の主症状及び潜伏期間が、ノロウイルスによるものと一致したこと。

(ウ)　患者の共通食が、原因施設で提供された食事に限定されること。

**■嘔吐や下痢訴える…法要の弁当食べた男女13人『ノロウイルス』による食中毒 飲食店を3日間の営業停止に　2/9(木) 19:58配信　富山テレビ　富山県南砺市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/520eee041152b6aa4e4aeb92a8ee30eaadc61788>

**食中毒の発生について　2023/2/9　富山県南砺市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.toyama.jp/1207/20230210houdou.html>

　　南砺市内の飲食店が提供した弁当を原因食品とするノロウイルスによる食中毒が発生しました。

砺波厚生センターが調査したところ、患者らは2月4日（土曜日）に南砺市内の飲食店が調理した弁当を喫食しており、当該施設で2月4日（土曜日）に調理された弁当を喫食した利用客のうち1グループ13名が食中毒様症状を呈していることが判明しました。

1.探知

令和5年2月6日（月曜日）午後4時20分頃、南砺市内の医療機関から、「2月4日（土曜日）の法要で提供された弁当を食べた複数名が、嘔吐や下痢等の消化器症状を呈した」旨、砺波厚生センターに連絡があった。

2.患者の状況（2月9日（木曜日）9時現在）

喫食者数：22名

患者数：1グループ13名（8名が医療機関を受診し、入院者はいない。全員、症状は快方に向かっている。）

年齢：10歳未満～70歳代（男性6名、女性7名）

主な症状：嘔吐、下痢

3.原因施設

屋号：古瀬商店

所在地：南砺市

業種：飲食店営業

4.原因食品

患者に共通して提供された食事が、当該飲食店が調理した弁当以外にないことから、2月4日（土曜日）に提供された弁当を原因と断定し、詳細については調査中である。

（主なメニュー：刺身、酢の物　等）

5.病因物質　ノロウイルス

6.措置

砺波厚生センターは営業者に対して、2月9日（木曜日）から11日（土曜日）までの3日間、食品衛生法に基づき営業停止を命じた。

7.指導事項

砺波厚生センターは営業者に対して、次の事項について指導した。

食中毒防止の三原則である「清潔」、「迅速」、「加熱又は冷却」を徹底すること。

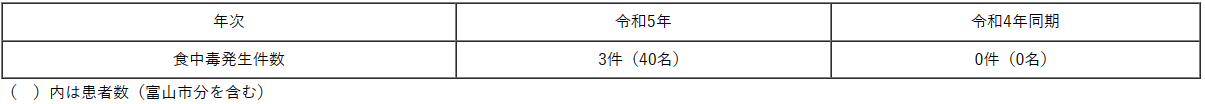
調理従事者の体調確認を行うとともに、体調不良の場合は調理業務に従事しないこと。

施設・設備の整理整頓及び清掃を徹底すること。

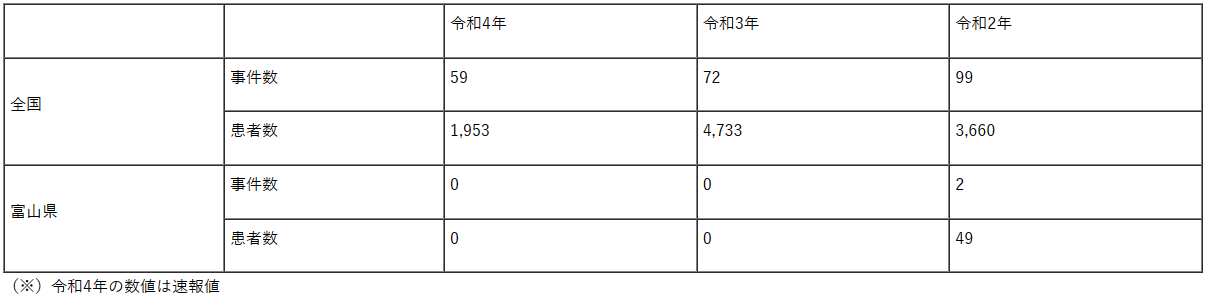
調理の前後やトイレの後などには、正しい手洗いを十分に行うとともに、アルコール等での手指の消毒を徹底すること。

調理の際、食品は十分に加熱し、衛生的に保管・提供すること。

8.食中毒の発生状況（令和5年2月9日現在、本事例含む）



9.ノロウイルスによる食中毒事例（過去3年）



**■飲食店でノロウイルスによる集団食中毒 63人に症状 東京 調布**

**2023年2月7日 18時57分　NHK NEWS WEB　東京都調布市**

**ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230207/k10013973711000.html>

**飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2023/2/7****東京都調布市**

**ノロウイルス**

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/ihan/kouhyou.html>

　食品衛生法により、飲食店営業施設等に対し、東京都が行った不利益処分等についてお知らせします。

公表年月日　20230207

業種等　飲食店営業

施設の名称　白金亭

施設所在地等　東京都調布市

主な適用条項　食品衛生法（食品衛生法等の一部を改正する法律（平成３０年法律第４６号）第２条の規定による改正前の食品衛生法（昭和２２年法律第２３３号）。以下「法」という。）第６条の規定に違反するので、法第５５条を適用

※食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第１２３号）附則第２条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた者であるから、当該営業者に対する不利益処分については、この法を適用する。

不利益処分等を行った理由 食中毒

不利益処分等の内容　2月7日から2月9日まで営業停止

備考 （2月7日現在の状況）

原因食品：1月28日（土曜日）及び1月29日（日曜日）に当該飲食店が調理、提供した食

　　　　　事

提供した食事の主なメニュー：黒米パン、カリフラワーとリンゴのポタージュビーツ添え、プリン、フルーツ、アイス等

病因物質：ノロウイルス　1月29日（日曜日）から63名がおう吐、下痢、発熱等を発症

**■広島県福山庁舎の食堂で食中毒　27人が下痢や発熱・嘔吐**

**2/7(火) 18:14配信　中国新聞デジタル　広島県福山市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9ae826c7246ee23b6ed6fff4514c408fe1b52678>

**20代～60代の27人に下痢や嘔吐などの症状　広島県福山庁舎食堂で食中毒　営業禁止処分**

**2/7(火) 16:44配信　RCC中国放送****広島県福山市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a64882520d94c11fb216cf96a5837a41cb55c314>

**広島県福山庁舎内食堂の食中毒発生について　2023/2/7　広島県福山市総務課**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/518104.pdf>

　１ 概要

福山庁舎内の食堂を利用した職員から，嘔吐・下痢の症状を呈する職員が多数発生したため，福山市保健所が調査した結果，当該食堂で提供された食事を原因とする食中毒であることが判明しました。

２ 原因

福山市保健所が調査した結果，有症者便からノロウイルスが検出されており，有症者の共通食は２月１日（水）に提供された食事に限られていることが判明しました。以上のことから，当該食堂で提供された食事を原因とする食中毒であると断定されました。

なお，同食堂は，２月６日（月）から当面，営業を停止しています。

３ 利用者の皆様へ

福山庁舎食堂を利用された方からノロウイルスの感染者が発生し，発症された皆様及び関係者の皆様に，多大な御迷惑と御心配をおかけしたことを心からお詫び申し上げます。

今回の事態を重く受け止め，福山市保健所の指導のもと，再発防止に取り組んでまいります。

発症された皆様のお早い御回復をお祈りするとともに，２月１日（水）に福山庁舎食堂を御利用の方で，ご不安がある方は，以下の連絡先までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

東部総務事務所：０８４－９２１―１３１1

**■舟入中町の会社の弁当で食中毒　広島県広島市中区**

**2023/2/6　中国新聞デジタル**

**ノロウイルス**

<https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/267879>

**食中毒の発生について　2023/2/6　広島県広島市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/houdou/houdou/318760.html>

　1　事件の概要

　　令和5年2月5日(日曜日)9時30分頃、市民から「2月2日(木曜日)に折詰弁当を食べた者のうち、複数名の者が体調不良を呈している。」との情報があり、調査を開始した。

　調査の結果、2月2日(木曜日)に「イベントスコミュニケーションズ　セントラルキッチン」が製造した折詰弁当を喫食した46名のうち14名が、2月3日(金曜日)7時から2月4日(土曜日)13時にかけて、下痢、嘔吐、発熱等を発症していた。

　患者の共通食は、当該施設が製造した弁当のみであること、患者便及び従事者便からノロウイルスが検出されたこと及び医療機関から食中毒患者の届出があったことから、広島市保健所は、この施設が製造した弁当を原因とする集団食中毒と判断し、2月6日(月曜日)、当該施設の営業者に対して、営業の禁止を命令した。

2　患者の状況

1. 患者数　14名：入院なし
2. 主症状　下痢、嘔吐、発熱等

3　原因施設

1. 施　設　名　　イベントスコミュニケーションズ　セントラルキッチン
2. 営業の種類　　飲食店営業三類
3. 営業所所在地　広島市

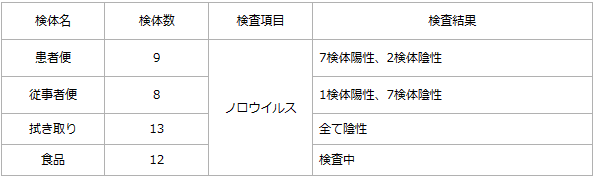
4　原因食品　令和5年2月2日（木曜日）に製造された弁当

　　　自家製和牛ごちそうコロッケ、ソーセージ、生ハムとピクルス、出汁巻き玉子、スモークサーモンの香味野菜添え、ポテトサラダ、赤キャベツと人参のラペ、ラタトゥイユ、パウンドケーキ、海鮮巻き寿司、太巻き寿司、白身魚のフリットタルタルソース、豚肉の小松菜ロール、キッシュ

5　病因物質　ノロウイルス

6　保健所の対応

1. 患者の発症状況及び喫食状況等の調査
2. 原因施設の立入調査・指導
3. 検体採取（検査機関：広島市衛生研究所）



**■食中毒発生概況について　2023/2/3　茨城県常総市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/seiei/eisei/documents/gaikyo_20230203.pdf>

　１ 探知　令和５年２月１日（水）午前11時頃、竜ケ崎保健所管内の住民から「１月29日（日）に常総市内の飲食店を家族３名で利用したところ、１月30日（月）午後７時30分頃から嘔吐、下痢、発熱等の体調不良を呈している。」旨の通報がつくば保健所に入った。

２ 事件の概況　つくば保健所及び竜ケ崎保健所の調査によると、令和５年１月29日（日）に常総市内の飲食店「拉麺 時代遅れ」を利用した２グループ９名のうち、８名が1月30日（月）午前11時頃から嘔吐、下痢、発熱等の食中毒様症状を呈し、５名が医療機関を受診していることが判明した。

調査の結果、７名の患者便及び２名の調理従事者便からノロウイルスが検出されたこと、患者の症状及び潜伏期間がノロウイルスによるものと一致したこと、医療機関から食中毒患者届出票が提出されたこと等から、つくば保健所は本日、当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と断定した。

なお、患者らはいずれも快方に向かっている。

３ 原因施設　屋 号：拉麺 時代遅れ

所在地：常総市水海道元町3459

業 種：飲食店営業

４ 原因となった食事　１月29日（日）に調理、提供した食事　中華そば、いなり寿司等

５ 病因物質　ノロウイルス

６ 発生日時　令和５年１月 30 日（月） 午前 11 時頃（初発）

７ 摂食者数　９名（男性５名 10 歳代～70 歳代、 女性４名 40 歳代～70 歳代）

８ 患者数　８名（男性４名 10 歳代～60 歳代、 女性４名 40 歳代～70 歳代）

９ 主症状　嘔吐、下痢、発熱

１０ 検査状況 拭き取り ： 15検体（施設、器具）

食 材 ： ４検体（残品）

検 便 ： ９検体（患者：７検体、調理従事者：２検体）

結 果 ：県衛生研究所が検査した結果、患者便７検体、調理従事者便２検体及び拭き取り４検体からノロウイルスが検出された。

１１ その他 行政処分（つくば保健所）

営業種別：飲食店営業

食品衛生法に基づく営業禁止：令和５年２月３日（金）から

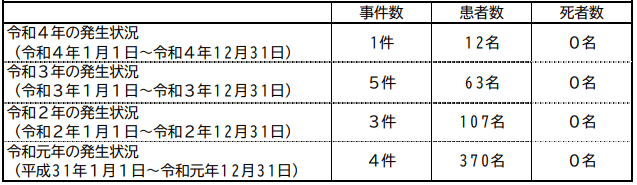
なお、当該店舗は２月２日（木）から自主休業している。

照会先：保健医療部生活衛生課食の安全対策室　担当者：室長補佐 佐藤 要介

連絡先： 090-3311-1520

資料提供

【参考】 茨城県内（水戸市を含む）のノロウイルスによる食中毒発生状況



**■違反施設に対する行政処分等の情報　2023/2/3　大阪府堺市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/shokuhineisei/anzenjoho/kaishu/gyosei.html>

　発生年月日（公表年月日）　令和5年1月29日（令和5年2月3日）

違反施設

業種名　飲食店営業

施設の名称　陵東館長曽根

所在地　堺市北区

違反の理由（内容）　食品衛生法第6条第3号違反（食中毒の発生）

措置内容　2月3日　1日間の営業停止

備考

【病因物質】　ノロウイルス

【原因食品】　1月28日に当該施設で調製された食事

【有症者数】　16人

**★寄生虫による食中毒★**

**■食品衛生法違反者の公表について　2023/2/8　葛飾区**

**アニサキス**

<https://www.city.katsushika.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/017/944/050208huriekisyobun-syusei.pdf>

　公表年月日　令和５年２月８日

業種　飲食店営業

施設の名称　居酒屋 一心水産

施設所在地　葛飾区

主な適用条項　食品衛生法第６条第３号違反のため同法第 55 条第１項を適用

行政処分を行った理由　食中毒

行政処分の内容　令和５年２月８日 １日間の営業停止

ただし、鮮魚介類（－20℃で 24 時間以上冷凍したものを除く。）の生食用での調理提供に限定した一部停止とする。

備考

原因食品令和５年１月 29 日に当該施設で調理提供されたシメサバ等の刺身

病因物質　アニサキス

患者数　１名

**■令和５年食中毒発生状況速報　2023/2/7　鳥取県鳥取市**

**アニサキス**

<https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1520501234534/simple/R5_shokutyudokuhasseizyoukyou.pdf>

　発症日　2/6

　届出日　2/7

　発生場所　鳥取市

　摂食者数　2

　患者数　1

　原因食品　海鮮丼

　病因物質　アニサキス

　原因施設　飲食店

　発生概要　飲食店で食事をした２名中１名が腹痛の症状を呈した。

　発生原因　アニサキスが寄生した食品を喫食したことによる。症状　腹痛、吐き気

**■刺し身食べたら8時間半後に痛み…胃からアニサキス　福井県内の量販店で購入の女性　2023年2月5日 午前11時30分****福井新聞　福井県福井市**

**アニサキス**

<https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1720201>

**アニサキス（寄生虫）による食中毒が発生しました　2023/2/4　福井県福井市**

**アニサキス**

<https://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/eisei/syokuhin/p020749_d/fil/siryou.pdf>

　本日、福井市保健所は、福井市内の量販店で販売した、「ブリ刺身・ヤリイカ冊・ヒラメ冊」を原因とする、アニサキス食中毒が発生したと断定しました。症状を呈したのは、１月３１日（火）に当該店舗で「ブリ刺身・ヤリイカ冊・ヒラメ冊」を購入・喫食した福井市在住の１名で、２月1 日（水）に胃痛の症状を呈し、２月３日（金）に福井市内の医療機関を受診し、症状は回復に向かっています。なお、入院はしていません。

１ 探知

２月３日（金）１７時１３分、患者本人から、「福井市内の量販店で購入した「ブリ刺身・ヤリイカ冊・ヒラメ冊」を自宅で喫食した後胃痛を呈し、本日、医療機関を受診したところアニサキス虫体が摘出された。」との連絡が福井市保健所にありました。

患者は１月３１日（火）１５時頃、福井市内の量販店「クランデール 二の宮店」で「ブリ刺身・ヤリイカ冊・ヒラメ冊」を購入。

１月３１日（火）１８時３０分頃に喫食後、２月１日（水）３時頃から胃痛の症状を発症した。

２月３日（金）１０時頃に市内医療機関を受診し、内視鏡によりアニサキス虫体を摘出され、胃アニサキス症と診断された。

２ 調査結果

市保健所は、本件を次のような理由からアニサキスによる食中毒と断定しました。

○当該店舗が販売した「ブリ刺身・ヤリイカ冊・ヒラメ冊」の喫食を起点とする潜伏時間や患者の症状が、胃アニサキス症と一致していました。

○患者は胃アニサキス症の潜伏時間中に、当該店舗で購入・喫食した「ブリ刺身・ヤリイカ冊・ヒラメ冊」以外に生鮮魚介類を喫食していませんでした。

○当該店舗では、アニサキス食中毒対策として十分な冷凍等をすることなく、当該食品を販売していました。

○患者からアニサキス虫体が摘出されました。

○医師からの当該患者に関する食中毒患者届出がありました。

【患者等の状況：２月４日（土）１１時現在】

患者

発症日時 令和５年２月１日（水）３時頃

症状 胃痛

患者数 １名【女性１名（４０代）】

原因物質 アニサキス（寄生虫）

原因施設

営業所名：クランデール 二の宮店（ニノミヤテン）

所 在 地：福井市

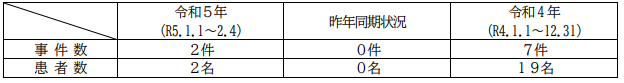
許可業種：魚介類販売業

原因食品 １月３１日（火）に当該施設が調理・販売した「ブリ刺身・ヤリイカ冊・ヒラメ冊」

３ 行政処分等

福井市は「クランデール 二の宮店」に対して、本日、食品衛生法に基づき魚介類販売業の一部（冷凍処理等のアニサキスの失活処理の無い生食用生鮮魚介類の販売）営業を、２月４日（土）の１日間営業停止処分にするとともに、処理・加工工程、衛生管理方法等の検証および改善、従事者の衛生教育の徹底を指示しました。なお、当該店舗は２月３日（金）、２０時より冷凍処理等のアニサキスの失活処理の無い生食用生鮮魚介類の販売を自粛しています。

４ 市内における食中毒発生状況（令和５年２月４日（土）１１時現在 今回の事件を含む）



**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■**

**★ウイルスによる感染症★**

**■保育所における感染性胃腸炎の集団発生について　2023/2/9　福岡県田川郡**

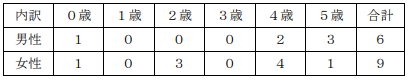
**感染症　ノロウイルス**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/184840.pdf>

　　令和５年２月８日、田川保健福祉事務所管内の保育所（田川郡内）から、複数の園児が嘔吐、下痢の症状を呈しているとの報告がありましたのでお知らせします。

１ 発生状況

1. 初発患者の発症日 ： ２月７日（園児０～５歳 １３名）
2. ２月９日までの発症者数 ： 園 児 １５名（内訳は下表のとおり）

職 員 ０名

1. 主な症状 ： 嘔吐、下痢。２名がノロウイルスとの診断、重症者はいない。

２ ２月９日の有症状者数１　３名（園児）

３ 原因　現在調査中

４ 行政対応

田川保健福祉事務所が当該保育所に対して、健康調査及び疫学調査を実施の上、まん延防止の指導を行っている。

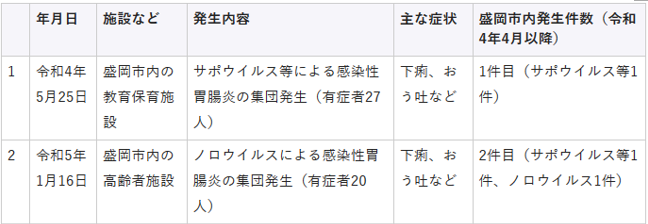
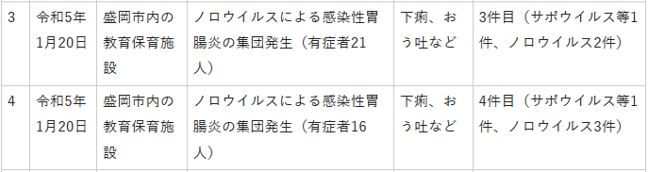
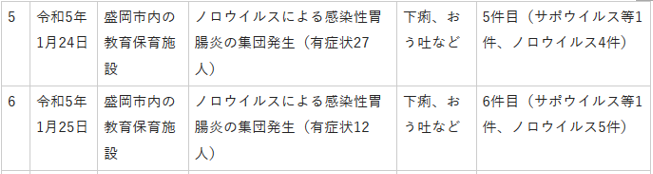
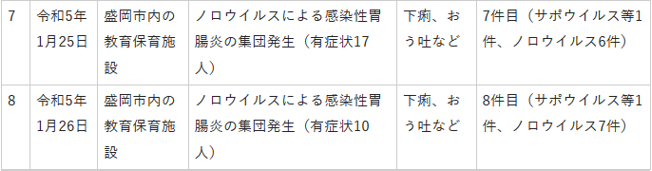
また、同日に複数の有症状者が発生していたことから、食中毒の可能性も含め、感染症との両面で調査を進めている。

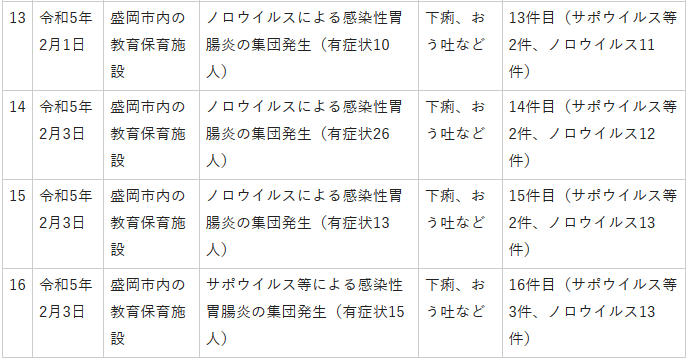
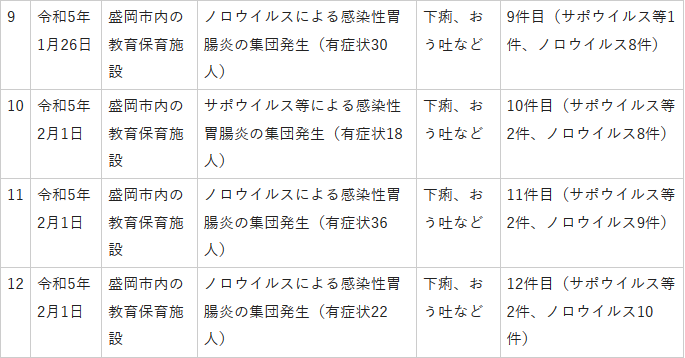
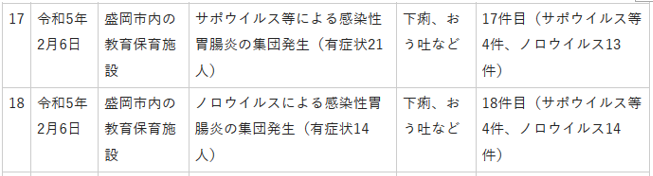
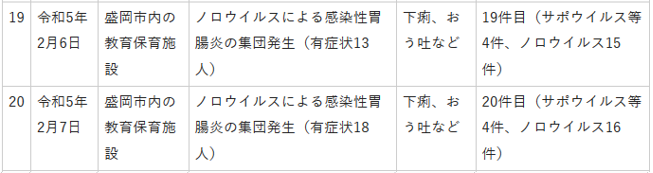
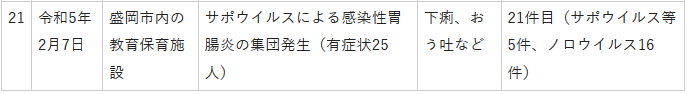
**■令和4年度感染性胃腸炎の集団発生について　2023/2/6　岩手県盛岡市**

<https://www.city.morioka.iwate.jp/kenkou/kenko/kansen/1016922/1041743.html>

　盛岡市内の施設において、感染性胃腸炎の集団発生事例がありましたので、お知らせします。

発生施設の状況

**■感染性胃腸炎（ノロウイルス）患者等の発生について　2023/2/3　北海道函館市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2022060300010/files/kansenseiityouenhaxtusei10.pdf>

　令和５年１月３０日（月），函館市内の保育所において感染性胃腸炎患者およびその疑いのある者の発生を確認しましたので，その経過についてお知らせいたします。

記

１ 発生の探知

令和５年１月３０日（月），函館市内の保育所から，嘔吐，下痢等の症状を呈している園児が複数名発生している旨，市立函館保健所に通報があった。

２ 発生の概要

函館市内の保育所で，１月２５日（水）から２月３日（金）にかけて園児２８名が，嘔吐や下痢等の症状を呈し医療機関において治療を受けた。

３ 現在の症状

　２月３日（金）現在，有症者は全員，回復もしくは快方に向かっている。

４ 経 過

１月２５日（水）　 当該保育所の園児で，嘔吐，下痢等の症状を呈する有症者が発生した。

１月３０日（月） その後，嘔吐，下痢等の有症者が複数名発生したため，当該保育所は市立函館保健所に通報した。

２月 ２日（木）　 函館市衛生試験所において，有症者の便検査を実施した結果，１名からノロウイルスが検出された。

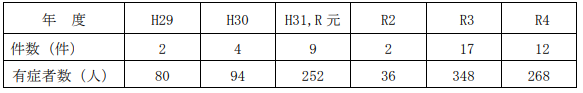
５ 感染経路　調査中

６ 対 応

　　市立函館保健所では，当該保育所に対し，園児・職員の健康状況の把握，手洗いの励行および保育所内の消毒等清潔の保持および注意喚起等，感染防止対策について指導を行った。

　　当該保育所においては，所内の消毒等の措置を行っている。

【ノロウイルス等が原因と考えられる市内の集団感染性胃腸炎の発生状況】

令和５年２月３日（金）現在

**■感染性胃腸炎（疑い）による川崎市立学校の臨時休業について 　2023/2/2　神奈川県川崎市**

**感染性胃腸炎**

<https://www.city.kawasaki.jp/templates/press/cmsfiles/contents/0000147/147750/20230202.pdf>

　１ 概 要

令和５年２月１日（水）、川崎市立浅田小学校（川崎区）において感染性胃腸炎（疑い）の症状により複数の児童が欠席したことから、次のとおり臨時休業措置を行いますので、お知らせします。

２ 対 象　川崎市立浅田小学校 ２年２組

３ 臨時休業期間　令和５年２月２日（木）から２月３日（金）まで

４ 欠席の状況　嘔吐・腹痛による欠席の件数 １４件

５ 今後の対応　校内の消毒を行い、引き続き児童の健康観察を行ってまいります

**■感染性胃腸炎（ノロウイルス）患者等の発生について　2023/1/27　北海道函館市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2022060300010/files/kansenseiityouenhaxtusei9.pdf>

　令和５年１月２３日（月），函館市内の保育所において感染性胃腸炎患者およびその疑いのある者の発生を確認しましたので，その経過についてお知らせいたします。

記

１ 発生の探知

令和５年１月２３日（月），函館市内の保育所から，嘔吐，下痢等の症状を呈している園児および職員が複数名発生している旨，市立函館保健所に通報があった。

２ 発生の概要

函館市内の保育所で，１月１５日（日）から１月２７日（金）にかけて園児２３名と職員５名が，嘔吐や下痢等の症状を呈し医療機関において治療を受けた。

３ 現在の症状　１月２７日（金）現在，有症者は全員，回復もしくは快方に向かっている。

４ 経 過

　　１月１５日（日） 当該保育所の園児で，嘔吐，下痢等の症状を呈する有症者が発生した。

　　１月２３日（月） その後，嘔吐，下痢等の有症者が複数名発生したため，当該保育所は市立函館保健所に通報した。

１月２６日（木） 函館市衛生試験所において，有症者の便検査を実施した結果，８名からノロウイルスが検出された。

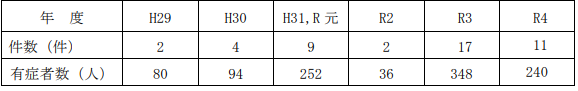
５ 感染経路　調査中

６ 対 応

　　市立函館保健所では，当該保育所に対し，園児・職員の健康状況の把握，手洗いの励行および保育所内の消毒等清潔の保持および注意喚起等，感染防止対策について指導を行った。

当該保育所においては，所内の消毒等の措置を行っている。

【ノロウイルス等が原因と考えられる市内の集団感染性胃腸炎の発生状況】

令和５年１月２７日（金）現在

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品★**

**■**

**★その他関連ニュース★**

**■亜系統の割合が上昇、BA.5は下がる - 東京都がゲノム解析結果を報告**

**2/9(木) 19:40配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ad09029061ce14ed110277b02c81697798f58df9>

**■インフルエンザ流行、注意報発令の自治体相次ぐ - 高齢者や乳幼児は「特に注意が必要」**

**2/8(水) 18:50配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8f23555ccaf7ddf14cf104a8c2f3f481d81dbdf4>

**■4割が「抗菌薬はウイルスをやっつける」と誤解 - AMR臨床リファレンスセンター調査結果**

**2/8(水) 17:45配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/73ed5a2605b7c24602e9adfc79ff5990b4f79b8e>

**■東京のインフルエンザ報告数が10週連続で増加 - 荒川区保健所管内が最多**

**2/8(水) 12:50配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f2675eef8d391b09cb4e7e6374b0347dd9c4d34d>

**■【感染症情報】インフルエンザが9週連続で増加 - 感染性胃腸炎は減少**

**2/7(火) 14:55配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c68d76f00be9ce772078ce98b640b4a7e4efbdb7>

**■新型コロナワクチン接種の79件を認定 - 厚労省が健康被害審査第一部会の審議結果公表**

**2/7(火) 12:45配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a7d1dbe58ff28b58e4fc0012e87effdf1f9c4fe0>

**■インフル報告数、全国で「注意報レベル」超え - 感染研**

**2/3(金) 17:25配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/693fd3b8f07c6de099eda85dcef256bb3cf26193>